

〇4月分要約

- ・県都として恥ずかしくない都市になってほしい。(津市)
- ・新市名は津市が良い。議員定数においては、新市誕生後の第1回目の選挙は、それぞれの地域性を尊重した区割りが必要。(津市)
- ・合併の目標は、すべてにおいていかにコストカットするか、いかに税収をアップさせるか。(津市)
- ・国民健康保険料は、各市町村で算定方式が違っているので、試案を早く出してほしい。(芸濃町)
- ・芸濃町の新庁舎建設について多額の負債をして合併することに疑問に思う。(芸濃町)
- ・一番重要な目的は住民の負担(地方税)を減らし住民へのサービスを維持又は向上させること。(津市)
- ・合併事業として製材層発電を立ち上げてほしい。(津市)
- ・合併のメリットデメリット、合併の目的がよく分からないので、説明してほしい。1、2回市民の公聴会を開いてほしい。(津市)
- ・すべての合併に絶対反対。地域住民が自治を行うためには、自治体ができるだけ小規模で自治体行政機関と住民との距離が最小なのがよい。(津市)
- ・津市を中心にとりという考えではなく周辺町村の文化遺産の保存には、十分心を配ってほしい。(津市)
- ・新市にしないでほしい。合併して良い点悪い点があることに分からないので、分かるように説明してほしい。(津市)
- ・合併賛成。(津市)
- ・合併しても絶対「津市」の市名は残すこと。(津市)
- ・津市はきめ細かい住民サービスのためにも適正な規模です。住民代表を排除した合併ありきの協議会に反対です。合併の賛否は住民投票で決めるべきです。(津市)
- ・新市の森林水源地域を後世に引継ぎ将来を通じて豊富な水源の確保供給と市民のための憩いといやしの場を提供するために環境・水源・緑地特区を設置され、それに伴うそれぞれの振興策の策定に期待したい。(美杉村)
- ・市町村合併で各自治体の市(町村)民が得られるものがあるのかどうか討議してください。市町村民の立場で話し合ってください。(津市)
- ・大きくなることは良いこともあるが市民としては重荷になることが多い。方針通りにならなかつたら誰が責任を負うのか。(津市)
- ・合併に関してよいこと悪いことと合併する理由を発表してください。(津市)
- ・「県都」として更なる発展をめざすならば『三重市』が最もふさわしい。広く合併をめざす10市町村の投票によって決めるべきです。(津市)
- ・今のままで何も不都合なことはないので、合併には反対です。(津市)
- ・「新市名」は、県庁所在地としての「津市」が望ましい。市町村と「区名」にすれば従来の「市町名」が残り現在、住んでおられる方に大方の賛成を得られる。(白山町)
- ・歴史ある一志郡がひとつになってほしい。(津市)
- ・一日も早く合併をして欲しい。(津市)

- ・太郎生は美杉村より離れて名張地区の合併を希望している。(美杉村)
- ・沢山の協議項目がありますが、すべての市町村において差のない、平等であるという方向で調整して欲しい。(美杉村)
- ・合併後の市議会議員定数を現総数の約1/3に削減する。市会議員等特別職公務員の給料、年金の上限を現在の1/2程度に引き下げる。(久居市)
- ・新市の名称に、みえ市を提案したい。(一志町)
- ・合併はその膨大な事務量、施設の変更と新設置、各種事業のとりあつかい等、最大の無駄遣いです。津市の名前をなくさないでもっと合併の中身を知らせて住民投票を実施してほしい。(津市)
- ・子供たちがより良く育てられる環境、安心して働くことが出来るようにして欲しい。(香良洲町)
- ・合併は、住民にとって特別課題であるので協議毎に住民の意見を徴してのぞんで欲しい。協議会だよりは、結果のお知らせのみにならないようにして欲しい。(不明)
- ・合併前の校舎建設など旧市町村での赤字が新市になって均一化されるのは不満である。地名は現行のものを新市名は「津」として欲しい。(津市)
- ・市町村議員定数削減を図り、議員の質を向上させて欲しい。(河芸町)
- ・新市名は「津」がいい。住所の番地がわかりにくいので、順に並ぶようにしてほしい。(久居市)
- ・後世に残る合併の分岐点でありますから、住民がよく討論して決めるのだという行政の姿勢が必要で
す。(河芸町)
- ・合併後の新市にとって最も重要なことは、旧市町村を完全に解体し新しい新市を創り出すことで、第一に明確にすべきことは「新市」の50年後のあるべき姿である。(久居市)
- ・新市の名称について、三重市が一番良い。議員定数について、市政も議員定数の半数に近づくと良い。十分に国民の意見は反映される。(久居市)
- ・合併後の市の名前は津市という名を残して欲しい。(津市)
- ・津市のネーミングは変える必要がない。(津市)
- ・広域になることにより市民の意思が十分反映することができる「意思反映システム」の確立。市議会の充実をはかるため、議員定数を20名～25名程度とすること。合併を見込んでのかけ込み設備投資を控え新しい市にとって必要なものに限定すること。(久居市)
- ・人口増加だけを目的とする合併には疑問を感じるので、無理に合併しない方がよい。(津市)
- ・美味しい水を下流の人々に届けられるよう、廃棄物・ごみの捨て場にしないと確約してください。村に根づいた「まつり」(広く広域の文化)を大切に守り続けてください。助役2人制(男女各1名づつ)にして、男女共同参画社会を人事で示してください。(美杉村)
- ・合併後の町名について、現在の関係市町村に同一町名が存在する場合、出来るだけ現町名を変えたくないので、本町等は重複が考えられるために、津市久居本町としたらはっきりする。(久居市)
- ・合併に期待しています。美杉村から名張への国道早くつけてほしい。(美杉村)
- ・千里が丘団地内の河芸町役場分室は必ず存続させて欲しい。合併後の長所や短所を箇条書きにしてわかりやすい文言で広報誌で公開してください。合併後の交付全額も公開してください。市町村合併については賛成です。(河芸町)

- ・安濃町社会福祉協議会内小規模作業所「あとうウイングス」障害者の作業所を合併してもなくさないでほしい。(安濃町)
- ・津市他との合併は反対で鈴鹿市との合併を希望します。河芸町において住民投票を希望します。(河芸町)
- ・合併は「対等合併」として欲しい。新市の名称は「津市」が良いと思う。各町や村の名前はできるだけ残して欲しい。(河芸町)
- ・久居市も住民投票を行なってほしい。車を持たない家庭もあるので、市役所等の移動は困る。公共料金の値上がりが困る。合併反対の意見。(久居市)
- ・市町村合併のメリット・デメリットが分からないので、分かりやすく説明して欲しい。(白山町)
- ・合併して大きくなることが必ずいいとは思わない。(津市)
- ・協議会規約の内容を承知したいので、各戸へ配布してほしい。(久居市)
- ・新市は「津市」を望みます。合併すれば山間部は産業処分場、斎場等に誘致されてしまいそうなので大変不安に思います。山間部こそ合併し発展して欲しいと願うが、材木の伐採等で緑を失くすことは絶対やめてほしい。(安濃町)
- ・新市になってもどんな障害者の方が、どこにどんな環境の下で暮らしているのか、しっかりと把握して、相談にのっていただける関係であってほしい。(久居市)
- ・新市の名称について、全国的にも珍しく由緒ある「津市」として欲しい。新市では構造改革を行い無駄な経費を省くように努めて欲しい。市の庁舎については、現津市の市役所を使うこと。(津市)
- ・合併を見すえての計画策定と既設の見直し。県立博物館の新設と資料。博物館の検討。観光資源のPR推進。公共料金等、高い方へ合わせない。サービス、低いほうへ合わせない。新空港へのアクセス、伊賀・奈良等の人が来れるよう環境作り。(津市)
- ・合併に賛成。(河芸町)
- ・新市の扱いとして、美杉村地域は近い将来まで単独で保全するように、県や国へ働きかけた方が新市建設計画なども、まとまりが早く、実現項目が調整しやすい。(美杉村)
- ・組長制度を廃止して欲しい。役所の窓口業務にまとめ役をつくれれば良い。個人情報印刷された配り物は直接役場から郵送するようにしてほしい。(美杉村)
- ・合併を目前にして、無駄な駆け込み建設を止めてほしい。(芸濃町)
- ・津市長の新市は津市という発言は、住民に対する先走り発言である。(久居市)
- ・協議会等の話は合併を前提として進めているが、合併後に起こるマイナス面も市民に分かるように公表して欲しい。(久居市)
- ・議員の在任特例制度は住民として納得できません。世論が納得できる対応をしてほしい。(河芸町)
- ・効率化を優先させれば思いやりの薄い行政になる。合併はして欲しくない。(河芸町)
- ・名称について、日本一短い市の呼び名として誇るより地域をアピールしたり、行政の内容で誇りたい。(一志町)

- ・住民投票条例を作り、住民投票を行なってほしい。(河芸町)
- ・合併した年から学校区域が選べるようにしてほしい。(津市)
- ・津市の名称が消えるなら合併反対。合併しても人口の多い津市に中心をおくべきです。(津市)
- ・新しい市役所の位置は、車がないと行けないのでは困る。(津市)
- ・地方の小都市が政府の方針に添って中途半端な人口の地方都市にしてもデメリットのほうが多いので、合併は反対。(津市)
- ・主だったことについて試算を公表してもらって、住民投票で決めるのが一番よい。(津市)